

## 研究課題：腹部臓器損傷の原因と画像所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：腹部臓器損傷は様々な原因で起こりうるが、適切な対応が求められます。そのためその外傷の受傷起点と、その画像所見を明らかにします。
2. 研究の概要：小児の腹部外傷は、交通事故や転落などの高エネルギー外傷で生じる場合と、転倒や打撲による、いわゆる比較的高エネルギー外傷ととらえにくい外傷起点によって生じる場合があります。そのため、予期しない腹部臓器損傷も起こりえます。腹部外傷は、損傷臓器や患者の状態によって、治療方法として安静、輸液から輸血、そして血管造影や外科療法が選択されます。そのため、早期の発見と診断が大切です。今回の研究では、外傷の受傷起点と、それによって生じた臓器損傷の画像所見を明らかにします。これによって、腹部臓器損傷のより早い発見と診断、そして治療の選択が可能となると考えます。
3. 研究の方法  
診断と加療のために行われた画像検査の所見、検査時期、そして受傷起点や治療法などを後方視的に調べます。
4. 研究期間  
2021年7月から2021年12月までの6ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類  
2000年9月から2021年4月までの腹部臓器損傷の診断と加療のために超音波検査、CT・MRIが行われた症例を、受傷起点、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表  
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。
7. 研究組織

研究分担医師： 細川 崇洋

研究施設名：独立行政法人埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

独立行政法人埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）